

一般社団法人

滋賀県介護福祉士会 ひろがり

The Shiga Association of Certified Care Workers

2021. 12

VOL.093

会員数780名 11月末現在



「ファーストステップ研修を受けて」



私は短大を卒業して、介護福祉士として特別養護老人ホームで3年間勤務してきました。その3年間で様々な困難に直面し、大学で学んだことを活かされず、何度か仕事を辞めようと考えてきました。それでも自分の描く福祉像を諦めることができず、この研修を受けています。日々のケアを見つめ直す良い機会になり、自分と自職場の課題、実践できていることや将来目指すべき方向性など様々なものが明確化される研修だと感じています。



特別養護老人ホーム信楽荘
ユニット勤務 受講生 小西峻秀

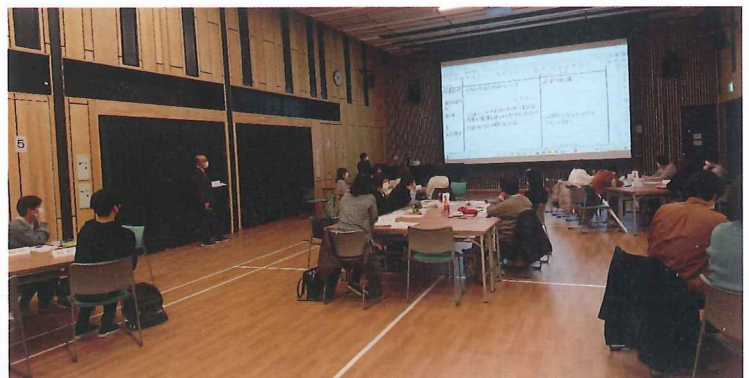
「介護過程の展開力を培う研修

11月24日北部会場で開催しました。

介護過程に特化した研修は今回初めての試みでした。受講生の皆さんは、事例をもとに介護過程の展開の中で、「根拠」となるアセスメントをグループで話し合いながら課題を導き出されていました。「その人を理解する」、専門職としてやるべきことが明確になり、実践で活かすようにしたいという声が多かったです。

この介護過程は実践していることですが、ポイントを押さえながら実践していくものですので、継続的に研修ができると良いと思っています。

研修担当理事 池谷



「障がい者支援のための研修」



今年もNPO法人滋賀県社会就労事業振興センターの出前講座を利用させていただき、滋賀県発達障害者支援センターの巽先生と村上先生に来ていただき『発達障がいの理解』をテーマに講義していただきました。

講義では研修参加者が事前に学びたいと思っている内容を盛り込んでいただき、分かりやすく発達障がいについて説明していただきました。

グループワークでは、事例をあげて、もし自分の事業所ならどのような対応が出来るのか考える時

間が持てました。

障がいを理解し、その方に合った対応をする事で、お互いに気持ちよく関わることが出来ることを学ばせていただきました。

研修担当理事 川端

「介護福祉士国家試験対策 全国一斉模擬試験」

国家資格保有者の介護福祉士の皆さんは、各施設・事業所等で、介護職チームの中核的な役割を担われていることと思います。「超高齢社会」と呼ばれるほど高齢者の人口が増加している現在、質の高い介護サービスを担保するため、政策的にも介護福祉士を確保していくことが求められています。

そこで、職能団体である日本介護福祉士会と各都道府県介護福祉士会の共催において、介護福祉士を目指す国家試験受験予定者に対し、独自に研究・分析した模擬試験を毎年、全国一斉に実施しています。当会では、12月7日に実施し、会場受験者21、自宅受験者6名が受験されました。

なお、第34回介護福祉士国家試験は、全国各会場で筆記試験が令和4年1月30日、実技試験が3月6日に実施され、3月25日には合格発表の予定です。

事務局担当

障害を理解する講座⑤ 知的障害 1

【知的機能（知能）とは…】

- ① ものごとの理解、記憶、推理する能力
- ② 経験を役立てる学習能力
- ③ 抽象的に思考する能力 などをいいます。

【知的障害者】は、おおむね18歳までの発達途上において様々な原因により生じた知的機能の発達の遅れや障害のため、日常生活や社会生活の適応に支障が生じ、障害の程度によって様々ですが、何らかの特別な援助を必要とする状態にある人たちです。

※認知症は知的機能の発達途上で起こる障害ではないので知的障害ではありません。

知的障害の原因は、数百種類にも上るといわれていますが、はっきりしないものがたくさんあります。難産のために脳が圧迫されたとか、出産後、頭を打ったり高熱を出すなどで脳に障害を受けた原因の場合もあります。

知的障害の状態をとらえるときには、「何ができないか」だけでなく、その人にとって身の回りの世界が「どのように認識されているか」「何ができるか」に注目することが大切です。

“抱え上げない介護”が未来を変える!!

2025年問題！介護人材の不足！

腰痛や身体への負担を理由に、介護の仕事を辞める話を耳にしませんか？

高齢化の進んでいる日本では、2025年に全国で37万人の介護職員が不足するとされています。

抱え上げない介護とは？

日本では人の力だけで行う“抱え上げる介護”が禁止されているのを知っていますか？

力任せの介護は介護する人・介護される人、双方の身体に大きな負担がかかります。

介護する人の間違った身体の使い方をなくし、力任せで行っていた部分には福祉用具を活用することで、安心で安全な介護につながります。



リフト



スタンディング
リフト



スライディング
シート



ボード



抱え上げない介護動画

「しがけあ」プロジェクトがスタートされました

県内の方々に介護の仕事に対する関心を持っていたくために、県の新規所業として、“滋賀県の介護をもっと身近に”をテーマに、「しがけあ」プロジェクトがスタートされました。

令和3年11月11日から特設ウェブサイト<http://shigacare.fukushi.shiga.jp/>が公開されており、随時情報が追加されています。

一般社団法人滋賀県介護福祉士会は、このイベントに参加し、介護の魅力発信に努めていきたいと考えております。

開催当日の特設ブースでは、排せつ関連用品の展示、また、ミニセミナーや相談会をさせていただく予定ですので是非ご来場ください。



開催日：令和4年2月6日（日）予定

場所：イオンモール草津

内容(予定)：特別ゲストを迎えたステージイベント、ブース出展、映画上映

滋賀県介護福祉士会 現在開催予定の主な研修

研修名	開催予定日	日数
1. 技能実習指導員講習	1月6日	全1日
2. 介護福祉士基本研修 1月～3月	1月18日、2月3日、 2月25日、3月2日	全4日
3. 介護福祉士実習指導者講習会	1月20日、1月26日、 2月10日、2月19日	全4日
4. 認知症ケア研修	2月8日(申込み受付締切日:1月11日)	全1日

今後開催予定の研修

※1～3の申し込み受付は終了しています。

※日程および会場が変更になる場合があります。

※研修開催予定は、ホームページにて随時公開しています。

編集後記

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も早いもので年末が近づいてきました。

去年から引き続きコロナ禍の影響で社会全体が翻弄され続けた1年でした。このような状況の中、あらためて介護現場での人と人が関わり合う介護の本質を再認識できました。

こんな時代だからこそ、対人支援の専門職である介護福祉士の役割が大切です。皆様の更なるご活躍を滋賀県介護福祉士会も応援しています。

それでは良いお年をお迎えください。

広報編集委員 村田才司



一般社団法人 **滋賀県介護福祉士会**
The Shiga Association of Certified Care Workers

〒525-0072

滋賀県笠山七丁目8番138号

滋賀県立長寿社会福祉センター内

TEL:077-569-5133 / FAX:077-569-5173

E-mail: shigakaigo@shiga-jaccw.jp

URL: <http://www.shiga-jaccw.jp/>



▲スマートフォンは
こちらから

事務局での電話対応時間帯

☎077-569-5133 (平日のみ)

10:00～12:00

13:00～16:00

※大変申し訳ありませんが、平日でも研修の対応などで電話をお受けすることができない場合がございます。

お手数ですが、ご用件は、ファックスまたは電子メールでお寄せください。